

氏名	小 野 昭 雄		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	乙 第 7 3 3 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭 和 50 年 12 月 31 日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)		
学 位 論 文 題 目	列車掛の労働条件 第 1 編 アンケート調査を中心とした調査結果 第 2 編 緩急車の衝撃、振動、騒音測定結果の分析		
論 文 審 査 委 員	教授 緒 方 正 名	教授 西 田 勇	教授 中 山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

列車運輸に関連のある労働者のうち E L ・ D L 乗務員の労働条件についての調査研究は行われているが、運転労働以外の労働者の労働条件についての調査研究は極めて少ない。

本論文では、列車掛の労働条件について、労働、健康、生活及び労働環境の実態を調査しその問題点を明らかにした。

調査結果の要約は次の通りである。

- 1) 不規則勤務が行われており、生活リズムの乱れが健康に影響を及ぼすことが考えられ、自覚症状調査でも強い全身疲労症状の訴えが認められ、加えて、乗務中の負傷の多発が認められた。
- 2) 緩急車では強い衝撃が認められ、またその振動は“乗物としての恕限度”を越えていることが認められ、騒音も許容基準を越えていた。
- 3) 以上の結果から、列車掛の労働条件の改善は、緩急車構造の改善にとどまらず列車ダイヤ、列車編成、不規則勤務等の多くの要因の検討にもとづいて行われる必要がある。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、列車掛の労働条件について、新しい見地に基つき、労働環境のみならず、生活条件より精細な調査を行い、その改善の必要性を述べたものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。